

実践『ペルソナ』通信 (No. 127)

「パスケース (学生証入れ)」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「パスケース (学生証入れ)」について、観察調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科 (担当: 竹内光悦)」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査を通して、実践女子大学生の多くが単パスケースを使用していることが分かりました。薄く軽量のタイプが選ばれており、ポケットに収まりやすく、かさばらないといった実用性が重視されている様子が見受けられました。また、デザイン面では特定のブランド品を使用している人は少ない傾向にあり、シンプルで主張の少ない見た目を好む姿がうかがえました。さらに、パスケースに求める要素としては、ストラップや複数ポケットといった追加機能よりも、学生証や定期券を安全に持ち運べる保護性を重視する傾向が見られました。これらの結果から、実践女子大学生はパスケースに対して、デザインや多機能性よりも、日常生活での扱いやすさと安心感を優先して選択していることが分かりました。

調査結果のポイント

(1) 単パスケースを使用している割合が高い

カードを 1 枚から 3 枚程度の控えめな収納の単パスケースを使用している学生が最も多く見られました。薄く軽量でありポケットに収まりやすく、かさばらないといった実用性が重視されていることが考えられます。

(2) デザインは無地が多く、ブランドを使用している人は少ない

デザインについては無地を選ぶ利用者が多く、ブランド品を使用している人は少ないことが分かりました。シンプルで主張の少ないデザインを好む傾向が見られ、ブランド性よりも落ち着いた見た目を重視している様子がうかがえます。

(3) 機能性よりも保護性を重視している人が多い

パスケースを選ぶ際には、ストラップや複数ポケットといった追加機能よりも保護性を重視する利用者が多い傾向が見られました。単パスケースや財布と併用しつつ、必要最低限のカードを落とさず安全に持ち運べる点に安心感を求める傾向があると考えられます。

## 調査概要

- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2025 年 11 月～2026 年 1 月
- ・調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス・調査協力者の居住内スペース

## 調査担当者

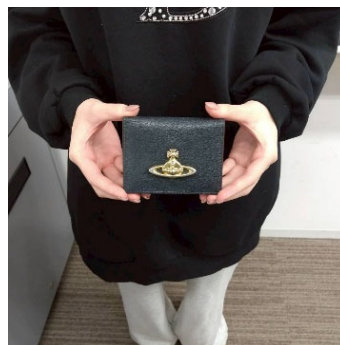
実践『ペルソナ』研究会 田野美珠稀・大関実佐季・松山萌愛

## 写真

### 【単パスケース】



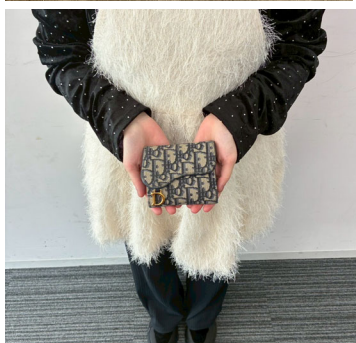
【二つ折り】



【その他】



【財布】





## 調査後記

今回の調査を通じて、女子大生のパスケースの利用傾向には、実用性とシンプルさを重視する特徴があることが分かりました。調査対象 19 人のうち 9 人が単パスケースを使用しており、カードを 1～3 枚ほど収納できる薄く軽量のタイプが選ばれていました。ポケットに収まりやすく、かさばらない点が評価されていることがうかがえます。

さらに、デザイン面では無地のパスケースを使用している学生が多く、特定のブランド品を選んでいる人は少ない傾向が見られました。全体として、派手さよりも落ち着いた見た目を重視する傾向で、日常生活に馴染むシンプルさが選択理由の一つになっていると考えられます。

また、パスケースに求める要素としては、ストラップや複数ポケットといった追加機能よりも、学生証や定期券を落とさず安全に持ち運べる保護性を重視する声が多く聞かれました。必要最低限のカードを確実に守れることが、安心して使い続けられるポイントになっていることが分かりました。

今回の調査では、多くの学生の皆様にご協力いただき、回答や写真提供を通して貴重なデータを集めることができました。ご協力いただいた皆様に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。今回得られた知見を今後の調査や分析に活かし、より質の高い研究を行っていきけるよう、メンバー一同努めてまいります。

下図は、今回の調査を踏まえて生成 AI（ChatGPT。2026 年 1 月 22 日（木）12：10）で出力した、ペルソナのイメージ図です。

